

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31103	無限の可能性開発講座 II Developing Communication & Social Skills II	全教員 (伊藤)	基礎	1	必修	1年 後期

**科目の概要**

講座IIでは、「無限の可能性開発講座I」での取り組みをとおして身に付けた能力を基礎とし、社会人基礎力3つの能力の「考え抜く力」「チームで働く力」を念頭に、グループワークに重きを置き授業を展開する。特に、目標を達成するための話し合い、課題を解決しまとめ、発表するといった一連のワークをとおして、考え抜く力、チームの仲間とともに目標に向けて協力する力を培う。

学修内容	到達目標
① 課題発見力と計画力について学ぶ。(課題とその解決方法について論理的に考える方法を学ぶ)	① 課題とその解決方法について論理的に考える方法を理解する。
② 発表において相手に分かり易く伝えるスキルを学ぶ。	② 発表において相手に分かり易く伝える工夫をすることができる。
③ ディスカッションに必要な「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」等について学ぶ。	③ グループワークに取り組む際に、「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」意識することができる。
④ ディスカッションを通して、「キャリア」「道徳」「人間性」「社会人基礎力」を深める。	④ 大学における学び、社会、災害、就職活動について、関心をもち、活動できる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業は欠席せずに、積極的に参加した。
	働きかけ力	
考え抜く力	実行力	グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。
	課題発見力	実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。
	計画力	
チームで働く力	創造力	授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決した。
	発信力	話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話した。
	傾聴力	相手の意見や伝えたいことに対して心から丁寧に耳を傾ける。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	チームで課題を解決する時は、役割分担をして早めの行動を心掛ける。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト:社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」

参考文献:なし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連:本科目を通して身に付けた力は、他の基礎科目及び専門科目全般で発揮することにより、さらに力をつけることができる。

資格との関連:なし

学習上の助言	受講生とのルール
授業は休まないことを約束すること。グループワークを主にした授業であるので、一人でも欠席すると他のメンバーに迷惑がかかることを常に考えること。	社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」を熟読しておくこと。 授業で行った内容を振り返り、自分自身の目標を考えること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最後には、授業で理解したことや感想など書いてもらいます。グループワークでの自分の行動を振り返り、次に活かしていくにはどうしたらよいか考えて書くこと。</li> <li>・課題として出された提出物は、きちんと書いてすべて提出すること。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	グループワークの結果を発表する機会を設けるので、わかりやすく伝えるために工夫をすること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	50	①	✓	(主体性) 授業は欠席せずに、積極的に参加できる。 (実行力) グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。 (課題発見力) 実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。 (創造力) 授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決できたか。 (発信力) 話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話すことができる。 (傾聴力) 相手の意見や伝えたいことに対して心から丁寧に耳を傾け、お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても相手の意見や立場を理解し尊重することができる。 (規律性) チームで課題を解決する時は、役割分担をして早めの行動を心掛けることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、授業でおこなうワークに積極的に取り組むことができる。</li> <li>・毎回の授業で学んだ社会人基礎力などを日常生活の中に取り入れ、自らの社会人基礎力を伸ばそうと取り組んでいる姿がわかる。</li> <li>・レポートや発表ではわかりやすく、人に伝えようと工夫を凝らしている。</li> <li>・上記のことが特に優れている場合は K(秀) 評価とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークに真面目に取り組むことができる。</li> <li>・授業で学んだ社会人基礎力などを、日常生活に取り入れようとしている。</li> <li>・レポートは期日を守り提出できる。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業内容、目標についてガイダンス 「チームづくり」について。	講義・ワーク (全教員)	・本授業の目的と内容の説明を聞いて理解することができる。 ・この授業の仲間と協力して課題を解決できる。	(復習) 今回の授業を振り返り学んだことをノートにまとめ復習する。	45	主体性 実行力 規律性
2週 /	社会人基礎力3つの能力 「チームで働く力」① 「チームで働く力」を意識してグループやペアを組んで取り組む。	講義・ワーク (育成室 伊藤氏)	・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・課題を最後まで、あきらめずに取り組み解決することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 創造力 主体性 課題発見力 規律性
3週 /	社会人基礎力3つの能力 「チームで働く力」② 「チームで働く力」を意識してグループやペアを組んで取り組む。	講義・ワーク (育成室 伊藤氏)	・チームにおける役割を理解することができる。 ・課題を最後まで、あきらめずに取り組み解決することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 創造力 主体性 課題発見力 規律性
4週 /	社会人基礎力3つの能力 「チームで働く力」③ 「チームで働く力」を意識してグループやペアを組んで取り組む。	講義・ワーク (育成室 伊藤氏)	・授業で意図した社会人基礎力が述べることができる。 ・課題を最後まで、あきらめずに取り組み解決することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 創造力 課題発見力 実行力 発信力
5週 /	グループで深めるテーマを共有する 「各教員によるワーク①」 ・社会人基礎力 12 の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開。	講義・ワーク (教員)	・授業で意図した社会人基礎力が述べることができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 創造力 課題発見力 実行力 発信力
6週 /	グループで深めるテーマを共有する 「各教員によるワーク②」 ・社会人基礎力 12 の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開。	課題発見力 講義・ワーク (教員)	・授業で意図した社会人基礎力が述べることができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 創造力 課題発見力 実行力 発信力
7週 /	グループで深めるテーマを共有する 「各教員によるワーク③」 ・社会人基礎力 12 の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開。	講義・ワーク (教員)	・授業で意図した社会人基礎力が述べられる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 実行力 発信力
8週 /	グループで深めるテーマを共有する 「各教員によるワーク④」 ・社会人基礎力 12 の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開。	講義・ワーク (教員)	・授業で意図した社会人基礎力が述べられる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	グループで深めるテーマを共有する 「各教員によるワーク⑤」 ・社会人基礎力12の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開。	講義・ワーク (教員)	・授業で意図した社会人基礎力が述べられる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力
10週 /	社会人基礎力育成グランプリ大会(学内)	学外活動	本学大学・短期大学の代表チームの発表を静かに聴講することができる。	(復習) グランプリ大会に参加してのレポートを作成し期日までに提出する。	45	主体性 規律性 傾聴力 発信力
11週 / 12週 / 13週 /	社会人基礎力3つの能力 「チームで働く力」「考え抜く力」 グループで深めるテーマを共有する。  ※テーマ:もし、あなたが避難所の運営をしなければならぬ立場になったとき! ー避難所運営ゲーム HUG(ハグ)ー ・災害について考える。 ・避難所で起こる様々な出来事にどう対応して行くか模擬体験する。 ・避難所の適切な運営を通して、目標・目的を達成するため、計画・実行・確認作業をする。	ワーク (全教員)	・避難所で起こる様々な出来事にどう対応して行くか模擬体験することで、災害について考えることができる。 ・教員の説明を聞きもらさないで課題に取り組める。 ・グループワークに参加して粘り強く問題を解決することができる。 ・欠席することなく授業に出席できる。 ・わからないことはグループの仲間に相談して解決できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(予習) 進捗状態を顧みて、次のワークの進め方を考えておく。  (復習) カードで解らなかった内容については調べてくる。	45  45  45	主体性 規律性 傾聴力 発信力 計画力 状況把握力 課題発見力 実行力
14週 /	共通テーマによるグループワーク② ・発表原稿作成・発表準備 ・避難所を運営してみでの振り返り、改善点を確認し、より良い運営ができるよう提案しまとめる。	ワーク (全教員)	・グループワークの結果をまとめ、わかりやすい発表原稿を作成できる。 ・粘り強く、グループワークに参加することができる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(復習) 発表原稿の作成で出来てないなら次回の授業までに仕上げてくる。	45	主体性 規律性 傾聴力 発信力 実行力
15週 /	共通テーマによるグループワーク③  ※全体発表 ・みんなで協力し、発表する。発表の仕方、聴き方を学ぶ。 ・他のグループの発表をみんなで共有して聴く。 ・講座Ⅱのまとめ(振り返りをする)	ワーク (全教員)	・グループの一員として、協力し、発表できる。 ・他のグループの発表を聴くことができる。 ・一年間の無限の可能性の取り組みを振り返り今後に活かすことができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・発表では、わかりやすく大きな声で説明できる。	(復習) 授業で学んだことを日常生活に取り組むようにする。レポート作成。	45	主体性 規律性 傾聴力 発信力 課題発見力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力